

加賀につづいた琳派

宗・雪 相説

そうせし

そうせつ

The Two Sotetsu: Bridging the Dimpa School
Legacies of Sotatsu and Korin.
in the Kaga Domain

石川県立美術館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART



令和7年 4月26日〔土〕▼5月25日〔日〕

開館時間／9時30分—18時（入館は17時30分まで） 会期中無休

観覧料

一般 一、〇〇〇円（八〇〇円）
大学生 八〇〇円（六〇〇円）
高校生以下無料

*2階コロンナ展観覧料を含む
*（ ）内は65歳以上の方または20名以上の団体料金
*身体障がい者、精神障がい者、保険福祉療育手帳をお持ちの方、またはマイナIDをご提示の方および付添いの方
1名は観覧無料

主催／石川県立美術館 特別協力／北國新聞社
後援／NHK金沢放送局、MRO北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送
上／重要文化財（秋草図屏風）部分、俵屋宗雪 東京国立博物館蔵 Image:TM Image Archives
下／石川県指定文化財（秋草図屏風）部分、喜多川相説 石川県立美術館蔵

宗達と光琳のあいだに



宗雪・相説

加賀につづいた琳派



1



2

屏風全体に草花を散らし、幻想的な世界を作り上げた「たはらの草花図」。「たはらや」とは、琳派の祖とされる俵屋宗達が率いた工房を意味し、その商標たる「伊年印」を有する「草花図」が金沢を中心とした北陸地方で数多く愛蔵されています。宗達は誰もが知る巨匠ですが、その後継者が加賀・金沢で活動したことは、意外と知られていません。その中心を担った俵屋宗雪と喜多川相説は、名前の読みが同じ「そうせつ」である

ことから、かつては同一人物とも思われていましたが、宗雪は加賀藩に仕え、その後継者として活躍したのが相説と考えられています。この地で長く愛されてきた「たはらの草花図」は、「加賀につづいた琳派」と呼ぶことができます。本展覧会では、その源流となる宗達の作品から、加賀での道筋を付けた宗雪と相説への作風の転換を探るとともに、五十嵐派蒔絵との関わり、「伊年印」の作品の数々を紹介いたします。



3

1 | 《桜芥子図襖》伝 俵屋宗達 大田区立龍子記念館蔵 2 | 《月に秋草図屏風》(右隻)伝 俵屋宗達 出光美術館蔵(前期展示) 3 | 《四季草花図屏風》伊年印 根津美術館蔵 4 | 石川県指定文化財《三十六歌仙額》のうち「伊勢」宗達派 尾崎神社蔵(展示替あり) 5 | 《蓮池蒔絵厨子》厨子蒔絵:五十嵐作 東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives

関連行事

記念講演会 *参加無料、申込不要
「宗達・宗雪→相説・光琳 - 饒舌館長ベストテン-」
日時:4月27日(日) 13時30分~15時
会場:石川県立美術館 ホール
講師:河野元昭氏(出光美術館 理事)

土曜講座 会場:石川県立美術館 講義室 *参加無料、申込不要
①「宗雪・相説展を深掘り!」
日時:5月10日(土) 13時30分~15時
担当:中澤菜見子(当館学芸主任)
②「加賀蒔絵を楽しむ」
日時:5月17日(土) 13時30分~15時
担当:野口明日香(当館学芸主任)
③「『宗雪・相説』昭和の研究史を探る 1」
日時:5月24日(土) 13時30分~15時
担当:村上尚子(当館学芸専門員)

ギャラリートーク *申込不要、要観覧料
日時:5月11日(日)・18日(日)・25日(日) 各日13時30分~(1時間程度)
会場:石川県立美術館 企画展示室

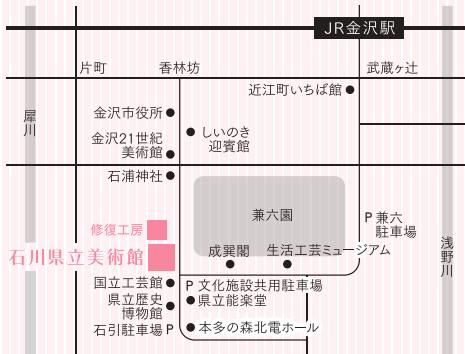
コラボスイーツ
会期中、館内カフェ「ミュージドゥ アッシュ KANAZAWA」にて、展覧会をイメージしたコラボスイーツを提供いたします。



4



5



交通のご案内

[バス]
JR金沢駅バスターミナル兼六園口(東口)から、路線バスで「出羽町」または「広坂・21世紀美術館」下車、徒歩5~7分。

[タクシー]
JR金沢駅から4km、平常時で10~15分。

[自家用車]
北陸自動車道「金沢西」もしくは「金沢森本」インターから20~30分。来館者専用の駐車場(無料)あり。

石川県立美術館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1 TEL:076-231-7580
https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/

